

Hitachi Koki

取扱説明書

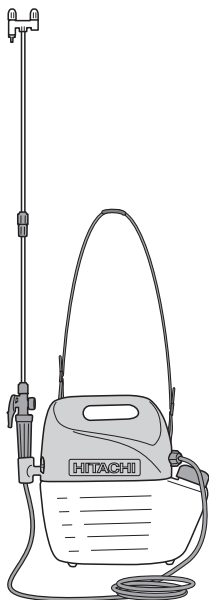
保証書付

形 名

FAA 9D(3L)
FAA 9D(5L)

日立 コードレス 噴霧器 [乾電池式]

このたびは日立コードレス噴霧器〔乾電池式〕をお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



FAA 9D(5L)

用 途

庭木・草花・家庭菜園の害虫駆除・病気防止など園芸用薬剤の散布専用

コードレス噴霧器の安全上のご注意 … 1
使用薬剤について … 4
各部のなまえ … 5
標準付属品 … 5

はじめに

各部の取付け … 6
薬剤の入れ方 … 7
電池の入れ方 … 8
電源の入れ方 … 8
スイッチレバーの操作方法 … 8
ノズルの調整方法 … 9
ポリスイッチについて … 10
呼び水について … 10
ポンプの固着解除 … 10
薬剤を散布する … 11
作業を終えたら … 13

使い方

点検とお手入れ … 15
故障かな…というときは … 17
仕様 … 17
アフターサービスについて … 18
保証書 … 裏表紙

その他

HITACHI

コードレス噴霧器の安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 危険、⚠ 警告、⚠ 注意、📌 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ 危険」、「⚠ 警告」、「⚠ 注意」、「📌 注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 危険 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を即時に負う事が想定される内容のご注意。

⚠ 警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

📌 注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

⚠ 危険

- ① 可燃性の薬剤（ベンジン、ガソリン等）は絶対に使用しないでください。
 - 爆発、火災の恐れがあります。
- ② 薬剤使用は、必ず薬剤の取扱説明書に従ってください。指定の濃度を守って、規定以上の濃度では使用しないでください。
- ③ 作業中は保護マスク・保護メガネ・保護衣・作業帽・不浸透性の手袋・作業靴を着用してください。

⚠ 警告

- ① 薬剤を人体にかけたり、幼児や子供に触れさせたりしないでください。
また、幼児や子供が触れないように保管してください。
- ② 薬剤に被爆したとき（皮膚にかかった等）は、薬剤の取扱説明書に従い適切な処置を行ってください。また、作業中、作業後に少しでも体調が悪くなったときは、すぐに医師の診断を受けてください。
- ③ 薬剤が人体、家畜にかからないように、近隣住宅の敷地内に飛散しないように、また、川、池、沼などを汚染しないように風向きや周囲の状況を十分に確認してください。
- ④ 使用する薬剤は、本機の取扱説明書に記載されている「使用できる薬剤」を確認してください。
- ⑤ 薬剤は、誤使用の危険がありますので、絶対に別の容器に移し替えないでください。薬剤の空容器は、よく洗浄し薬剤メーカーの指示に従って、正しく処分してください。
- ⑥ 薬剤を変えるときは、必ず前の薬剤を完全に抜いてからタンクをよく洗浄し、新しい薬剤を入れてください。
 - 薬剤が混ざると、予期できない化学変化をおこす恐れがあります。
- ⑦ 本機は屋外専用です。室内や風通しの悪い場所では使用しないでください。また可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
 - 薬剤の誤吸引や爆発・火災の恐れがあります。
- ⑧ 夜間や天候不良などの視界が悪いときは使用しないでください。また、雨中や雨上がりの湿った、または、ぬれた場所では使用しないでください。
 - 足元が不安定になり、バランスを失い、事故の原因になります。また感電や発煙の恐れがあります。
- ⑨ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - 誤って作動させてしまうと、思わぬけがの原因になります。
- ⑩ 指定された用途以外に使用しないでください。また、この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - 事故やけがの原因になります。
- ⑪ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにモーターを停止し、電源を切り、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
 - 事故やけがの原因になります。
- ⑫ 誤って機体を落としたり、ぶつかったりしたときは、破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注意

- ① 機体、特に電池部・端子部に水や薬剤をかけないでください。
 - 絶縁不良・故障の原因となります。
- ② 使用後は、きれいな水をタンクに入れて噴射し、ポンプやノズルに残っている薬剤を洗い流してください。
 - 薬剤が残っていると固まったり、凍結して故障の原因になります。
- ③ 使用後、本体は箱などに入れ直射日光や雨水をさけて、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ④ 空運転（液体の入っていない状態での運転）は絶対にしないでください。
 - 故障の原因となります。
- ⑤ 作業する前に、必要な点検を必ず行ってください。ホースの接続部はしっかり締まっているか、ホースに破れや穴はないか、タンクのキャップはしっかり締まっているか、等の点検を忘れないでください。
 - 点検を怠ると、薬剤が漏れるなど思わぬ事故につながります。
- ⑥ タンクに薬剤を入れたまま、本体を逆さまにしたり、倒したりしないでください。
 - 空気穴より薬剤が漏れることがあります。
 - また、使用後はタンクやノズルの薬剤を完全に抜いてください。
 - タンクがノズルより高い位置にある場合、薬剤がノズルより出ることがあります。
- ⑦ ゴキブリ・ハエ・蚊等に用いる殺虫剤・防疫用薬剤、下水・便所等に用いる消毒剤、畜産用薬剤は絶対に使用しないでください。
 - 故障の原因となります。
- ⑧ 作業終了後は、器具や着衣類を全てよく洗い、作業者も入浴するか、手、足、顔等を石けんでよく洗い、うがいをしてください。
 - 薬剤が付着したままでは、健康を害する恐れがあります。
- ⑨ 噴霧状態が悪化した場合などに噴口を清掃する場合は、顔面に薬剤がかかる恐れがありますので、必ず電源、スイッチレバーを切ってから、噴口を取りはずして清掃してください。
- ⑩ 薬剤の調合の際は、薬剤の使用上の注意をよく読み、正しく希釈してから使用してください。
 - 濃度が濃かったり、薬剤が完全に溶けていないと、故障の原因となります。
 - また、調合が適切でない薬剤は、作物を傷めるだけでなく、人体にも有害になる恐れがあります。
- ⑪ 安全性を損なう恐れがありますので、40℃以上の温水、発熱性の薬剤は使用しないでください。
- ⑫ 飲酒時、過労さみ、病気や妊娠しているときは作業をしないでください。
 - このようなときに作業を行うと、思わぬ事故を引き起こします。
 - 作業するときは、必ず心身とも健康な状態で行ってください。
- ⑬ 人に本機を貸すときは、取扱方法をよく説明し、使用前に、この取扱説明書をよく読むように指導してください。
 - 借りた人が本機を誤った使い方をして、思わぬけがなどをすることがあります。
- ⑭ 炎天下で長時間作業しないでください。作業は、風の強くない、朝夕の涼しい時間を選んでください。

使用薬剤について

この噴霧器は園芸用薬剤散布専用です。使用する薬剤については、薬剤の取扱説明書を十分に読んでいただき、内容をよく理解した上で薬剤をお使いください。

園芸用薬剤以外の強酸性、強アルカリ性の液体、可燃性の液体、溶剤等は絶対に使用しないでください。

石灰硫黄合剤や水和剤を使用される場合、ポンプの寿命や性能に悪影響を及ぼしますので、水に十分溶かしてからご使用ください。

保管方法についても、必ず薬剤の取扱説明書に従ってください。

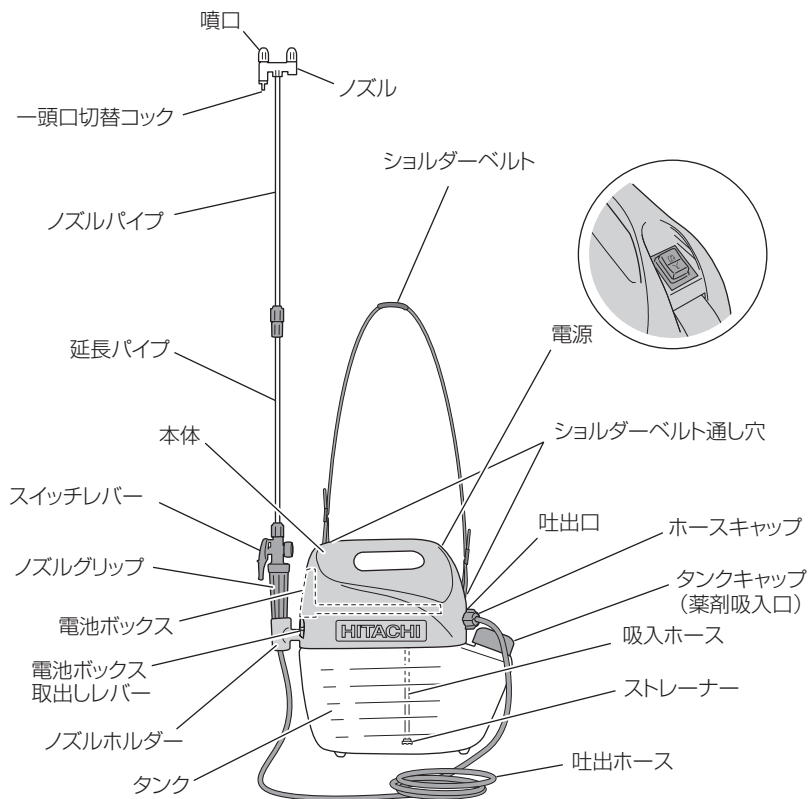
●使用できる薬剤

- 石灰硫黄合剤
- スミチオン乳剤
- マシン油乳剤
- オルトラン乳剤
- アクテリック乳剤
- サイアノックス乳剤
- スミナイス乳剤
- ケルセン乳剤
- アカール乳剤
- ポリオキシシン乳剤
- サブロール乳剤
- オレート液剤
- ラウンドアップ
- ターンアウト液剤
- MCPソーダ塩
- オルトラン水和剤
- ロブラール水和剤
- ベンレート水和剤
- マンネブダイセンM水和剤
- ダイセン水和剤
- ダコニール水和剤
- ボルドー水和剤
- キャプタン水和剤
- オーソサイド水和剤

●使用できない薬剤

- 可燃性の液体や溶剤（ガソリン・ベンジンなど）
- ケンセン水和剤
- DDVP
- ゴーゴーサン
- スタム
- トレファノサイド
- 油性薬剤
- 園芸以外の殺虫剤（ハエ・蚊用殺虫剤・シロアリ駆除剤など）
- 畜産用薬剤（オルソ・ヨードなど）
- 防疫殺菌用薬剤（クレゾール・ホルマリンなど）

各部のなまえ

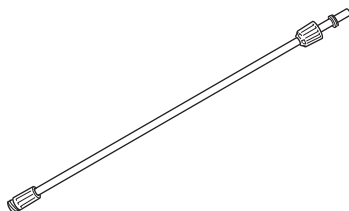


標準付属品

スポイト… 1個



延長パイプ (37 cm) … 1本



ショルダーベルト… 1本



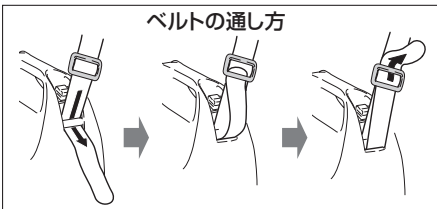
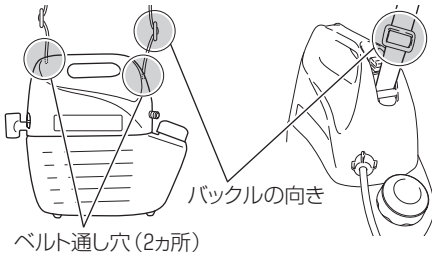
各部の取付け

ショルダーベルトの取付け

本体のベルト通し穴(2カ所)に付属のショルダーベルトをバックルの向きに注意して取付けます。

ショルダーベルトは、作業しやすい長さに調整してください。

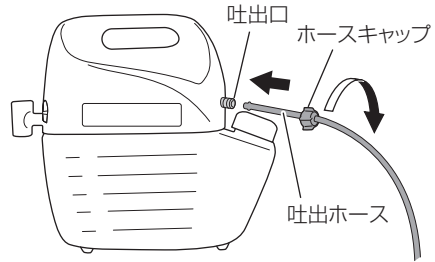
注 バックルの向きが反対ではベルトが固定できません。



吐出ホースの取付け

本体の吐出口に吐出ホースをさし込み、ホースキャップをねじ込み、吐出ホースを固定します。

注 液漏れがないよう、しっかりと締付けてください。



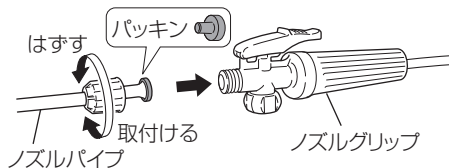
ノズルパイプの取付け

ノズルパイプをノズルグリップに取付けます。

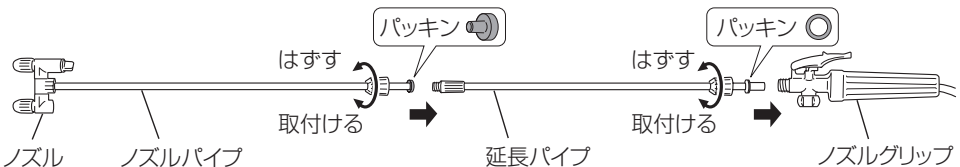
接続部にはパッキン(ゴム輪)が付いていることを確認してください。

液漏れがないようしっかりと締付けてください。

注 接続部にパッキン(ゴム輪)を紛失しないように注意してください。パッキンがないと、液漏れます。



【延長パイプを取付ける場合】



はじめに

使い方

薬剤の入れ方

⚠ 危険

- 可燃性の薬剤（ベンジン、ガソリン等）は絶対に使用しないでください。爆発、火災の恐れがあります。
- 薬剤使用は、必ず薬剤の取扱説明書に従ってください。指定の濃度を守って、規定以上の濃度では使用しないでください。
- 薬剤を調合する際は、不浸過性の手袋・作業靴を着用してください。

⚠ 警告

薬剤を使用するときは、本機の取扱説明書に記載されている「使用薬剤について」の「使用できる薬剤」を確認のうえ、使用してください。

別の容器で、薬剤を十分溶かして（うすめて）からタンクに入れてください。

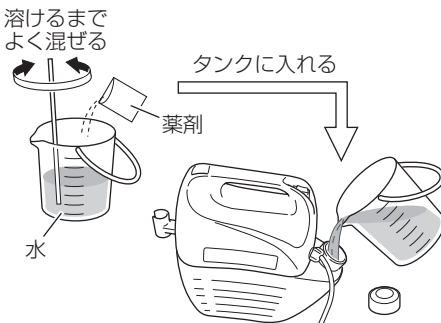
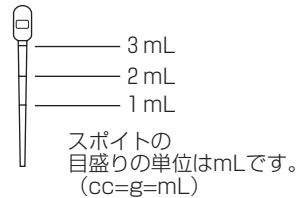
十分に溶かされていない場合、ポンプやタンクの寿命や性能に悪影響を及ぼしますので、水に十分溶かしてからご使用ください。

付属のスポイトの目盛りは約 1 mL 単位、タンクの目盛りは約 1 L 単位になっています。

右の表を参考に薬剤を薄めてください。また、使用後はタンク内やノズルを十分に洗浄してください。

⚠ 注意

- 薬剤は必ず調合してからタンクに入れてください。タンクに直接薬剤を入れると、故障の原因となります。
- 薬剤は規定容量以上入れないでください。液漏れや故障の原因となります。



水の量	薬剤の量		
	500 倍にうすめるとき	1,000 倍にうすめるとき	2,000 倍にうすめるとき
1L	2 mL	1 mL	0.5 mL
2L	4 mL	2 mL	1.0 mL
3L	6 mL	3 mL	1.5 mL
4L	8 mL	4 mL	2.0 mL
5L	10 mL	5 mL	2.5 mL

電池の入れ方

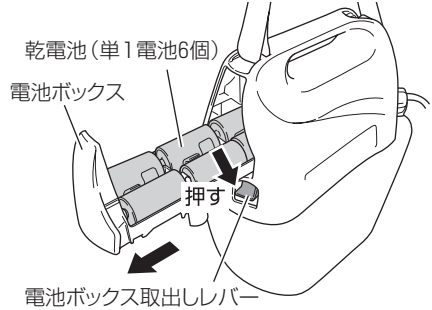
⚠ 注意

乾電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。

乾電池は市販の単1電池6個をご用意ください。

- ①電池ボックス取出しレバーを押して、電池ボックスを取出します。
- ②乾電池を電池ボックスに表示されている向き(⊕(プラス)、⊖(マイナス))に正しく入れてください。
- ③電池ボックスをもとどおり「カチッ」と音がするまで押し込みます。

- 注**
- 使用後は必ず乾電池を抜いて保管してください。
 - アルカリ電池とマンガン電池を混ぜて使用しないでください。
 - 乾電池を交換するときは、すべて新しい電池と交換してください。



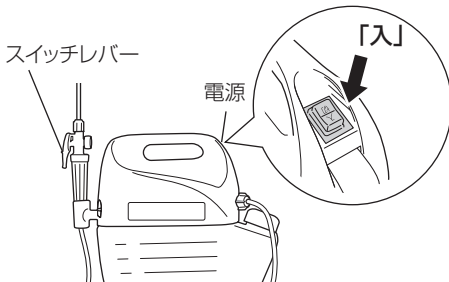
電源の入れ方

⚠ 警告

スイッチレバーが入ったまま、電源を入れると、同時に薬剤が散布され、思わぬけがや事故の原因になります。

電源を入れる前に、必ずスイッチレバーが切れている(『連続』スライドされていない、『押す』側が押された状態になっていない)ことを確認してください。(右の「スイッチレバーの操作方法」参照)

電源は「入」側を押すと入り、「切」側を押すと切れます。



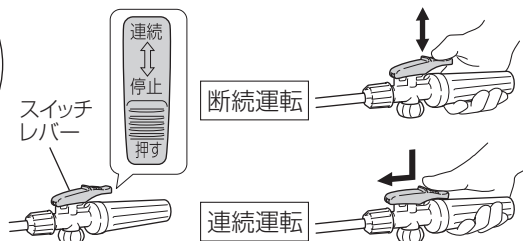
スイッチレバーの操作方法

⚠ 警告

- スイッチレバーを入れる前に、ノズル先端がどこを向いているか確認してください。
- 散布後は、スイッチレバーを連続運転のままにしないでください。

スイッチレバーの『押す』を押すとノズルから薬剤が散布され、はなすと切れます。『押す』を押しながら『連続』側にスライドすると、スイッチレバーをはなしても散布が続く連続運転になります。

連続運転を解除するときは、『停止』側にスライドさせてはなします。



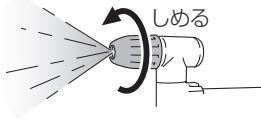
ノズルの調整方法

拡散程度の調整方法

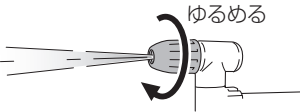
ノズル先端を回すことで、拡散程度を調整できます。用途に応じて、調整してください。

注 噴口は、ゆるめ過ぎるとはずれます。

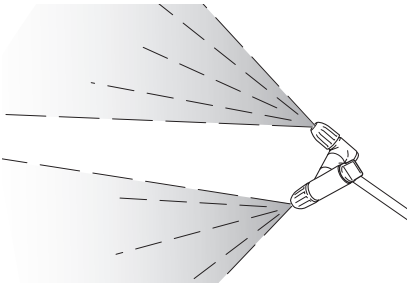
広範囲に
散布するとき



遠くへ
飛ばすとき



2つのノズルの向きを変えて、広範囲に効率よく散布できます。

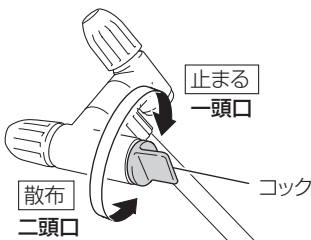


一頭口への切替え方法

ノズルは二頭口ですので、2方向への散布が可能となっています。

二頭口と一頭口の切替えは、ノズルのコックを回して行います。

一頭口にすると、二頭口の場合より、強く、遠くに散布できます。

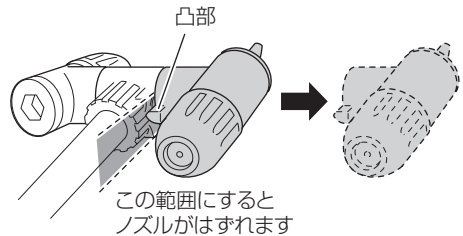


⚠ 注意

- 液漏れの原因となりますので、コックを締めきった状態から1回転以上ゆるめないでください。
- 散布する前に、薬剤が作業者や他人に掛からないように、噴口の向きを確認してください。
- ノズルホルダーにノズルを立てる際、誤ってスイッチレバーに触れ誤作動しないようご注意ください。

コック付側のノズルを回転させ、凸部が下図の範囲にすると、ノズルがはずせません。

噴口に異物が詰まったり、洗浄するときには、ノズルをはずして確認してください。



注 上図の範囲で散布すると、噴口がはずれたり、作業者が薬剤をあびてしまうことがあります。

ポリスイッチについて

本製品には、モーターが高温になると自動的に電流を遮断してモーターを停止させる「ポリスイッチ」が内蔵されています。

ポリスイッチは電流と温度に反応してモーターを停止させますので、モーター負荷が大きくなる原因（ノズル、ストレーナー、パイプのごみ詰まり、ポンプの固着、電源を入れスイッチレバーを入れない噴霧待機の状態での放置等）があったり、使用環境温度が高いと効き易くなりますので、原因を取除き作業をしてください。

気温が高い日に、一頭口噴霧での連続作業でもポリスイッチが働くことがあります。

ポリスイッチが働いた場合は、いったん電源を「切」にして、1分程度待ってから、電源を入れなおすと、モーターが起動します。

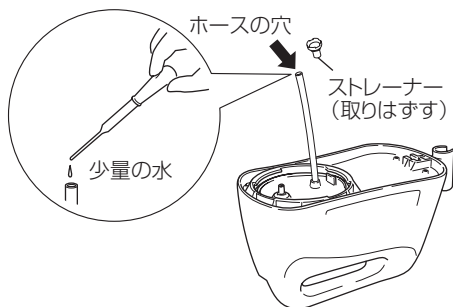
頻繁にポリスイッチが働く場合は、ご使用を中断して、お買い求めの販売店に点検・修理をご依頼ください。

呼び水について

長期間保管した場合、ポンプ内が乾燥して液を吸い上げないことがあります。

万一そのようなときは、本体を逆さまにしてストレーナーを取りはずし、ホースの穴（矢印）へ少量の水を入れ、逆さまのままスイッチを入れます。

その後、ストレーナーを付け、本体とタンクをセットして、通常使用してください。（噴射するまで繰り返してください。）



ポンプの固着解除

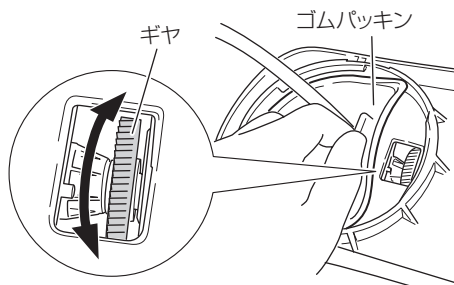
使用后、ポンプ内に薬剤が残っていると、薬剤が固まりポンプが固着し故障の原因となります。

万が一ポンプが薬剤で固着した場合は、下記の方法により固着を解除することができます。

注 固着の状態によっては、無理にギヤを回すと故障の原因となります。無理に回さないでください。

電源が「切」になっていることを確認し、本体の裏側にあるゴムパッキンをめくり、指でギヤを矢印のように回して動かしてください。

スムーズにギヤが回るようになりましたら、ゴムパッキンをもとに戻して動作を確認してください。



薬剤を散布する

庭木・草花・家庭菜園の害虫駆除・
病気防止など園芸用薬剤の散布

⚠ 危険

作業中は、保護マスク・保護メガネ・
保護衣・作業帽・不浸過性の手袋・
作業靴を着用してください。

⚠ 注意

次の場合、特に散布に注意が必要です。
・畑や家庭菜園同士の距離が近いとき
・隣の食物作物の収穫が近づいてきた
とき
・飛散が起こりやすい散布方法・条件の
とき

⚠ 警告

- ・薬剤が人体、家畜にかからないように、
近隣住宅の敷地内に飛散しないよう
に、また、川、池、沼などを汚染しな
いように風向き・周囲の状況を十分に
確認のうえ、使用してください。
- ・薬剤に被爆したとき（皮膚にかかった
等）は、薬剤の取扱説明書に従い適切
な処置を行ってください。

知っておいてください・・・『ポジティブリスト制度』

ポジティブリスト制度とは食品衛生法に基づく残留基準値が設定されていない農薬等が一定量以上含まれる食品の販売等を原則として禁止する制度です。

一定量とは「人の健康を損なう恐れのない量として厚生労働大臣が定める量」として、原則0.01 ppmとなっています。

この定められた基準を超えて薬剤が残留する食品は、出荷停止・販売禁止・回収等の対応を求められるようになりました。

薬剤の適正使用はもちろんのこと、散布する薬剤が周りの畑や菜園に飛散しないよう、細心の注意が必要であるとともに、地域一体となった取組みが大切です。

作物以外に薬剤が飛散しないように散布する

風向きに注意して散布する

薬剤飛散の最大要因は風です。風のない日や風の弱いときに散布してください。

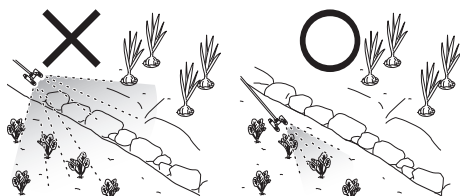
散布中は、常に風の状況を把握して注意することが必要です。



適正な散布量

必要最小限の量と区域で散布を行い、無駄な散布をしないように心掛けます。

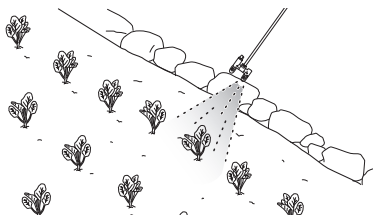
散布量が多くなると飛散する割合も大きくなります。



方向や位置に注意する

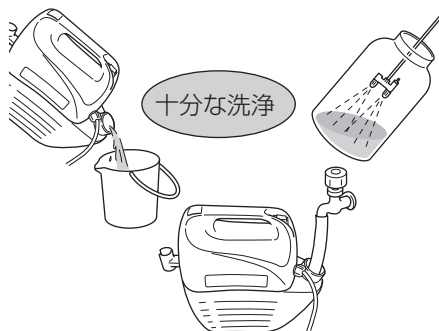
出来るだけ作物の近くから作物だけに散布するよう心がけます。

特に畑や菜園の端部では外側から内側に向けて散布する等、特に注意が必要です。



タンクやノズルの十分な洗浄

使用した薬剤がタンクやノズルに残っていると、次の散布時に作物に薬害が生じたり、収穫物に薬剤が残留してしまう等、思わぬ事態に繋がる恐れがあります。



地域一体となった取組みが大切です

周囲の作物にも効果のある薬剤を使用

より多くの作物に適用があり、収穫近くまで使えるような薬剤を選定することで、飛散した場合のリスクを低減することが出来ます。



薬剤の使用方法を守る

使用前には薬剤の使用方法を確認し、散布出来る作物や使用量、濃度、使用時期、総使用回数を必ず守ってください。

また、畑や家庭菜園に使用した薬剤や作業内容を必ず記録しておいてください。

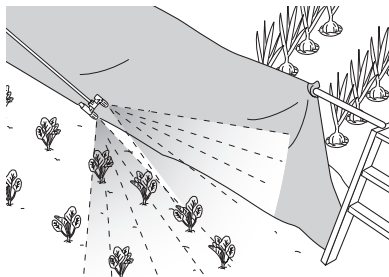


【使用上の注意、
•使用量にあわせ薬液
•瓶内では使用しない
•特に適用作物群に
の責任において準
等々】

薬剤の飛散防止

周りの畑や家庭菜園で収穫直前の作物がある場合は、散布日や収穫日を変更する等の調整をしてください。

また、境界区域では薬剤散布を控え、周りの作物をネットやシートなどで遮断したり一時的に覆ってください。

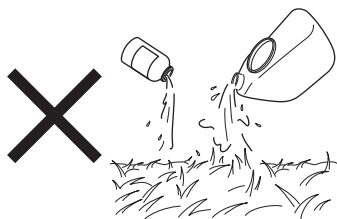


薬剤散布をすることを散布する畑や菜園周辺の方々に伝え、日ごろからコミュニケーションをとるなど、地域の人々との連絡を密にすることを心がけてください。

作業を終えたら

⚠ 注意

- 余った薬剤及び機体を洗浄した排水は、薬剤の取扱説明書に従い処理してください。河川、水源地、下水等に流入しないようにしてください。



- 余った薬剤をタンクに入れたまま、長時間放置しないでください。各部品が傷み、製品寿命が短くなります。
- タンクに薬剤を入れたまま、本体を逆さまにしたり、倒したりしないでください。空気穴より薬剤が漏れることがあります。
- 使用後はタンクやノズルの薬剤を完全に抜いてください。タンクがノズルより高い位置にある場合、薬剤がノズルより出ることがあります。
- 噴口からポンプ内部に残った薬剤を完全に洗い出してください。噴口やポンプ内の薬剤が固着し、故障の原因となります。
- 本体に液体をかけないでください。絶縁不良・故障の原因となります。
- 冬季はポンプ内に残った水が凍結し破損する恐れがあるので、洗浄後は水がなくなるまで運転し、完全に水を抜いてください。
- 石灰硫黄合剤・水和剤はしっかりとポンプ・ノズル内を水洗いしてください。固着・ノズル詰まりの原因となります。

作業を終えたら、次の手順でタンク内部やノズル内に薬剤が残らないように洗浄してください。

残った薬剤や機体を洗浄した廃液は、「薬剤の取扱説明書」に従い、処理してください。

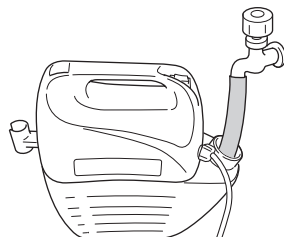
1 電源を切り、残った薬剤を他の容器に移し替える

残った薬剤は「薬剤の取扱説明書」に従い、処理してください。



2 タンクを洗浄する

タンクにきれいな水を入れて、洗浄します。洗浄した排水は「薬剤の取扱説明書」に従い、処理してください。



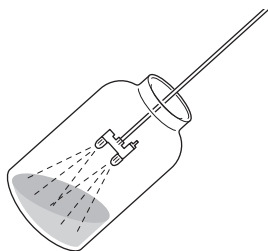
3

ポンプとノズルを洗浄する

もう1度、タンクにきれいな水を入れます。

次に、電源を入れて噴射させ、噴口からポンプやノズル内部に残った薬剤を完全に洗い流します。

このとき、排水が周囲に飛び散らないように、広口のビンなどに、噴口をさし込んで噴射してください。

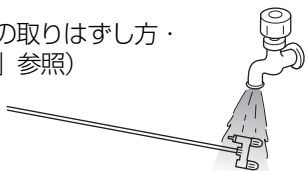


4

部品を洗浄する

タンクやノズル接合部部品、噴口先端部など、薬剤が付着している部分を取りはずして、きれいな水で洗浄してください。

(「タンクの取りはずし方・取付け方」参照)



5

水分が残らないように乾燥させる

直射日光の当たらない、風通しの良い場所で十分に乾燥させてください。

注 ゴムパッキンなど細かな部品もありますので、なくさないように注意してください。

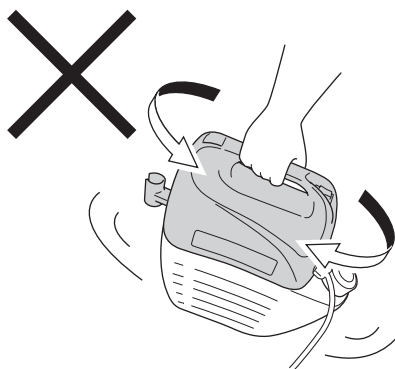
注 冬期は機体内部、ホース内の水が凍結する場合がありますので、十分に水気を取った後、室内で保管してください。

タンクのはずし方／取付け方

⚠ 注意

本体を持ったまま左右に振らないでください。

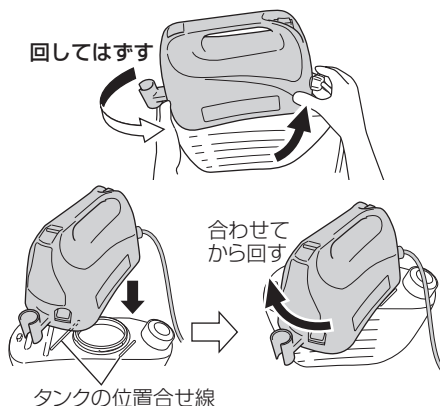
不意にタンクがはずれると、思いがけない事故やけがの原因になります。



タンクが回らないように押さえながら、本体(上部)を回します。

タンク上部にある位置合せ線まで、本体を回してから上方に持ち上げ、本体をタンクからはずします。

取付けは、タンクの位置合せ線に本体を合せてから本体を回します。



タンクの位置合せ線

点検とお手入れ

⚠ 警告

- 点検・お手入れの際は、不浸透性の手袋・作業靴を着用してください。
- 点検・お手入れの際は、必ず電源を切ってください。
- ぬれた手で作業をしないでください。
感電やけがの原因になります。

●機体、各種ホースの点検

破損、亀裂、変形や液漏れ跡がないことをよく点検してください。

●取付けねじの点検

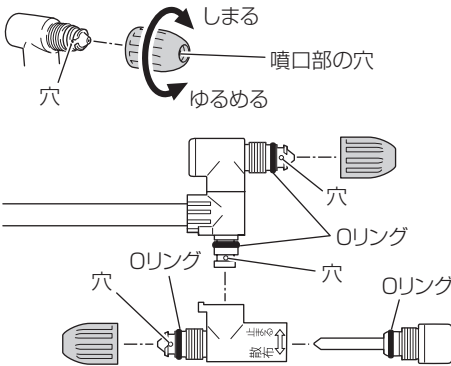
本体のねじがゆるんでいないか、点検してください。ゆるんでいたら、締め直してください。

●噴口の清掃

⚠ 注意

噴霧状態が悪化した場合など噴口部を清掃する場合は、顔面に薬剤がかかる恐れがありますので、必ず電源を切って、噴口部を取りはずして清掃してください。

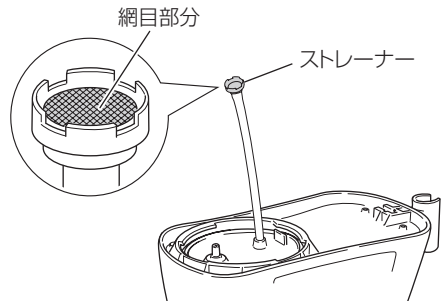
つまようじなどで穴の詰まりを取除いてください。



- 注** Oリングをなくさないように注意してください。
Oリングがないと、液漏れします。

●ストレーナーの点検

ストレーナーの編目部分の詰まりを取除いてください。



●本体はきれいに

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●作業後の保管

⚠ 警告

- 前の薬剤が本機内に残っていると、薬害を起こす危険性があります。
- タンク内に薬剤を入れたまま保管しないでください。
本機の故障の原因となるばかりでなく、思わぬ事故の原因になります。

⚠ 注意

- 使用後は十分洗浄し、屋内の直射日光が当たらず風通しの良い、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 乾電池の使用方法に従い、使用後は必ずスイッチを切ってください。
また、定期的に動作、液漏れの点検をしてください。
使用後は、乾電池を取出して保管してください。
乾電池を入れたままにしておくと、電池の液が漏れて、発熱破裂の原因になります。

注 保管場所について

使用しない機体や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、乾いた布で水気を拭き取って乾燥させ、本体を箱などに入れ、安全で乾燥した場所に保管してください。

- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
- 軒先など雨が降ったり、湿気のある場所には保管しない。
- 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

故障かな…というときは

次の内容を点検してください。それでもなおらない場合はお買い求めになった販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

症 状	考えられる原因	処 置
スイッチを入れても作動音がしない	電池が消耗している	新しい電池と交換する
	電池の入れ間違い	電池を正しく入れ直す
	ポンプが固着している	「ポンプの固着解除」に従い処置する
	ポリスイッチが作動している	「ポリスイッチについて」に従い処置する。
スイッチを入れると作動音はするが噴霧できない(霧の出が悪い/弱い)	電池が消耗している	新しい電池と交換する
	ホースが折れている	まっすぐに直す
	噴口が詰まっている	「噴口の清掃」に従い処理する。
	ストレーナーが詰まっている	「ストレーナーの点検」に従い処置する
	タンク内の液量不足	液を追加する
	ポンプ内が乾燥している	「呼び水について」に従い処置する
ノズル本体より液漏れ	ノズル部品の締付けがゆるんでいる	「各部の取付け」「ノズルの調整方法」「噴口の清掃」を参照し処置する

仕 様

形 名	FAA 9D (3L)	FAA 9D (5L)
タンク容量	3 L	5 L
噴霧能力 (7.2V時)	一頭口	450 mL/min
	二頭口	680 mL/min
電池寿命目安	一頭口	アルカリ乾電池使用時： 80 L
	二頭口	アルカリ乾電池使用時： 180 L
全長 × 全高 × 全幅	380 mm × 283mm × 164mm	380 mm × 333mm × 167mm
質 量	2.2 kg (乾電池装着時)	2.4 kg (乾電池装着時)
標準付属品	スポイト、ショルダーベルト、延長パイプ (37 cm)	
乾電池	単一乾電池 6本 (別売り)	

アフターサービスについて

安全に能率よくご使用いただくために、定期的に点検に出されることをおすすめします。正常に作動しないときは、ご自分で修理をなさらず、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にご依頼ください。また、アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

相談と修理の窓口一覧表

(家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示)

本製品についてのご相談や修理は、お買い求めの販売店へどうぞ。

この商品についてのご相談や修理は、お買い求めの販売店が承るようになっております。転居されたり、贈物でいただいた場合などでお困りの場合は、お近くの相談と修理の窓口にご相談ください。なお、相談と修理の窓口の所在地、電話番号など、変わる場合もありますので、その節は「電動工具お客様相談センター」をご利用ください。新しい所在地、電話番号をご案内いたします。

お住まいの地域	窓口の所在地	支店(部)名	電話番号
全 国	港 区	営業本部	(03) 5783 - 0626
北海道	札 幌 市	北 海 道	(011) 896 - 1740
青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	仙 台 市	東 北	(022) 288 - 8676
茨城、栃木、群馬、埼玉、東京、千葉、神奈川、山梨、新潟、長野、静岡県富士川以东	港 区	関 東	(03) 5783 - 0608
岐阜、愛知、三重、静岡県富士川以西	名古屋市	中 部	(052) 533 - 0231
富山、石川、福井	金 沢 市	北 陸	(076) 263 - 4311
滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	西 宮 市	関 西	(0798) 37 - 2665
鳥取、島根、広島、岡山、山口	広 島 市	中 国	(082) 504 - 8282
徳島、香川、愛媛、高知	高 松 市	四 国	(087) 863 - 6761
福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	福 岡 市	九 州	(092) 621 - 5772

「電動工具お客様相談センター」 ☎ 0120 - 208822 (フリーダイヤル・無料)
※携帯電話からのご利用になれません。 (土・日・祝日を除く 午前9:00 ~ 午後5:00)
電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>

日立コードレス噴霧器保証書

形名	FAA 9D(3L) FAA 9D(5L)	保証期間	本体：1年 (付属品は除く)
※お買い上げ日	平成 年 月 日	製造番号	
※お客様	お名前		
	ご住所	〒	
※販売店	住所	〒 電話()	
	店名		

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

保証期間内に取扱説明書などの注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき無料修理いたします。お買い上げの日から上記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合には、有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の衝撃、落下あるいは移動、輸送などによる故障または損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - 保管の不備およびお手入れの不備による故障または損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書に形名、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 一般使用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。
 - 付属品、別売部品や消耗品類の場合。
- 本製品の故障などに伴う二次的損害に対する保証はいたしません。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
- ご転居、ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、取扱説明書記載の営業本部または、支店にお問い合わせください。

●この保障書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

●本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is only Japan)

 日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南 2-15-1(品川インターシティA棟)
電話 (03) 5783-0626 (代)